

東北が誇る世界最高水準パワーストーン・薬石
花崗岩角閃石。トルマリン石の混合
『福光石温浴剤』



- 『体験者の声』
- ・遠赤外線効果で体の芯から温まる感じ
 - ・湯冷めがしにくい、入浴後もポカポカする
 - ・お湯の汚れが少ない
 - ・浴槽が汚れない
 - ・浴室にカビが付かない(掃除が楽)
 - ・39～40度でも暖かく入れる
(燃料費、水が節約でき長い目で見れば経済的な商品)
 - ・別売りの十和田石と一緒に入れるとお湯がトロリ、滑らかになる



6,000円(2キロ入り)



気仙沼・大島
東北一大きい離島
緑の桜が咲き、エメラルド
グリーンの海に囲まれた
楽園のような周囲22キロの島
人口3,000人
気仙沼港から旅客船で25分

『使用上の注意』 送料 600円
月に1回、袋に水をかけて洗浄し、天日で数時間干して下さい
◎ 効果は減ることはありません。半永久的ですからお得な商品です

『生産・販売』 ~ 安定した仕事がない漁業者の雇用確保のための工房~

「大島手作工房」〒988-0633 宮城県気仙沼市駒形111
Tel 0226-28-2125 堺(090-9741-6468)
e-mail sakaim41@gmail.com fax 0226-28-2596



十和田石
豊富なミネラルお湯に溶け込みます
1,000円(1キロ)

参加申込用紙 事前にメールかFAXにてお送り下さい

団体名 _____

代表者氏名 (_____) 住所 _____

連絡先 _____ 携帯電話 0 _____

参加者構成 大人____名・高校生____名・小中学生____名 計____名(男____名・女____名)

参加希望日 ____年____月____日～ ____泊・日帰り

希望する研修内容 _____

設備・備品で手配を依頼するもの・〈有料〉 (例プロジェクター モニター PC等)

発行者: 大島宝島委員会(会長: 堺 健) 〒988-0633 宮城県気仙沼市駒形111
Tel 0226-28-2125 (ファクス 0226-28-2596) e-mail sakaim41@gmail.com

大島・気仙沼復興支援ツアー
(ボランティアリズム) 参加者募集!!

A 趣旨

3.11 大震災は 869 年の貞観の津波以来の大被害でした。
皆様のおかげで、徐々に復旧しております。
大型ハリケーン・カテゴリーに襲われたフロリダ州で、一番復興に役立ったのは、約 200 万人のボランティアの宿泊費、飲食代おみやげの売り上げでした。これが“ボランティアリズム”の始まりです。
当会のボランティアリズムはボランティア活動以外に、産業振興やエコな暮らし実現のため、“島民と同じ視点で末永く、助け合いの関係を築く”ことが目的です。この震災から無化学肥料農法の確立、島外の方と共に情報 (ICT) の多様な活用、地域の担い手育成・人材育成を推進しています。

☆大島とは

現在人口は 3,000 名。約 1,000 戸。椿やユズが育つ温暖で、緑の風が吹く、緑の真珠のように美しい“東北の楽園”。天明、天保の大飢饉で餓死者がほとんどなかった“助け合いの奇跡の島”。「大島の民話・伝説」が刊行されます。

B 大島の歴史や暮らしを学びます

無料バスで島巡り。亀山の絶景や竜宮伝説の竜舞崎、天然記念物のくぐり浜。専門ガイドが「天明、天保の大飢饉でほとんど餓死者が出なかった島の助け合い」を学びます。
「大島の民話」を教材に、語り部と楽しく交流します。
1) 島内で食の半自給化を目指す「みんなの畑プロジェクト」で、無農薬農法体験。植物のたくましさや育つ環境を学びます。
2) 安定した仕事がない養殖漁業者の雇用確保のため、「大島手作工房」で温浴剤などを生産しています。薬石ベルトや塩ワカメも販売します。

島民と一緒に復興の仕事をしてきましょう。
3) 環境負荷が少ないエコで安心した暮らしに挑戦しています。木質など自然再生エネルギー活用や電源の分散化を参加者で学び合います。

C ツアースケジュール

1日目: 気仙沼災害状況視察→大島災害状況視察と亀山展望台で大島の概要把握(江戸時代のスペイン大使セバスチャン・ビスカイノの証言)や三陸の砂金が平泉政治・文化をつくった話し。長寿の島や民話を紹介「みんなの畑」など農作業ボランティア～
旅館 黒潮 夕食(講和・座談会)
2日目: 朝食 復興ボランティア。“大島手作工房”でパワーストーン商品 アクセサリー、塩ワカメ作り→竜宮伝説の竜舞崎～大島神社・タニシ伝説、久須師神社・長寿祈願鳴り砂のくぐり浜(十八鳴浜)→気仙沼へ
昼食は気仙沼の復興商店街で昼食とお買い物→各地へ

『1泊2食付宿泊代金 お1人 7,350円～。島内バス案内無料』



天然記念物神秘的鳴り砂、くぐり浜



絶景・亀山展望台で大島の海洋



仕事後、被災者、島民と語り



「みんなの畑プロジェクト」で農作業作物が育つ環境を学びます



民話の語り部と交流

気仙沼・大島“きずな”情報センター協議会

電話 0226-28-2125 sakaim41@gmail.com (旅館 黒潮内)
“本土から近い楽園・大島” 宮城県気仙沼市駒形 111 代表 堺 健 090-9741-6468

大島の民話と探索マップ

■亀山リフトで亀山頂上へ往復

- A 浦の浜
↓ 0.2km (約4分)
- B 亀山リフト乗り場
↓ (約12分)
- F 亀山リフト頂上

1 鳴り砂亀山コース

- A 浦の浜
↓ 0.8km
- C 十八鳴浜入口
↓ 1.6km
- F 十八鳴浜
↓ 1.8km
- E 大島神社
↓ 0.2km
- F 亀山レストハウス
(約1時間20分)

2 海風コース

- A 浦の浜
↓ 0.9km
- G 田中浜
↓ 0.3km
- M 導き地蔵
↓
- H 小田の浜 (約1時間20分)

3 パワースポット

竜舞崎コース

- A 浦の浜
↓ 0.7km
- N 久須師神社
↓ 1.5km
- M 西光寺
↓ 0.7km
- P 長命寺
↓ 0.7km
- J 竜舞崎
↓ 0.1km
- K 乙姫岩屋
↓ 0.1km
- L 大島灯台
(約2時間)



久須師神社



緑の桜77本あります



緑の桜…5月上旬～中旬
 椿…3～5月中旬
 浦の浜～田中浜 椿回廊
 竜舞崎周辺…
 椿、緑の桜、あじさい、ひまわり



大島の民話の舞台と神社仏閣

E 大島神社



大島神社は、別名「御田の神様」と言われ、御祭神は「倉稲魂神」(うがのみたまのかみ)です。「倉稲魂神」は農耕、収穫、商売繁栄の神様として各地に「お稲荷さん」として奉られています。当、大島神社は金華山以北では最も古い歴史と高い格式を有するお宮として貞観元年(859年)に従五位上の神階を授けられ、延長5年(927年)撰上の文献「延喜式神名帳」に(桃生郡六座の名神大社)として、撰上されています。しかし、この大島神社は、延喜式撰上よりも、まだまだ古より大島の人々の守り神として、祭られてきました。大島と言う地名もここに大島神社があることにより、世に知らしめられました。伝承の中に、田植えの季節には、何事もなく無事お田植がおえる様に、御神体の岩座の上に「たにし」が現れ毎夜青い光をはなっていたと言い伝えが有ります。古の人達がこの様な事に畏敬の念を持ちお奉りしてきたのでしょう。

今でもお田植がおえて「おさなぶり」にお参りに来る方が多数見うけられます。又海上安全、大漁満足祈願する海の方々、家内安全、営業繁栄、交通安全祈願の参拝も絶えません。

C 十八鳴浜

明治27年に来島した地質学者が、日本で初めて鳴り砂を発見したと「地学雑誌」に発表して以来有名になりました。砂を歩くと「キュッ、キュッ」となります。九十九は十八ですから十八鳴(くぐなり)浜と言われております。汚染が少ない清浄な砂粒が摩擦によって鳴ると考えられております。

O 光明寺

真言宗光明寺の開山は仁和年間と伝えられ本尊は不動明王です。この不動明座像と地藏菩薩立像は市の文化財に指定されています。また波切不動尊も祀り、4月28日が祭典日です。三陸三十三観音霊場第17番札所になっています。

M 導き地蔵様

津波の怖さを伝えると共に罪のない善男善女があつた世に旅立つ時、極楽浄土にお連れする「導き地蔵様」が現存しております。田中浜から入った白幡賢治氏の氏神様。現在は安産とお乳がでるよう祈願する神社です。

N 久須師神社

大島菊田家の先祖は薬師如来を崇敬し、防の沢に薬師堂を建てました。以来山門を建て仁王像を造営し、盛大な祭礼が行われるようになりました。明治維新以後久須師神社と改められましたが、4月8日の祭典には近郷近在から参拝者で賑わいました。医薬に関係あるオオアナムチ、スクナヒコナの神が祭神です。現在は通称「お薬師さん」と呼ばれ、まさに長寿健康祈願の神社です。

Q 西光寺

曹洞宗西光寺は岩手県普門寺の末寺です。天文年間の開山と言われておりますが、正確な記録は焼失して不明です。落合直文の「恩愛の刃」に書かれている寺です。境内に金比羅神社も祀り、5月10日が祭典日です。

P 長命寺

開山は8世紀頃か。真言宗智山派で総本山は智積院。本尊は聖観世音菩薩で春日作と言われています。千葉県成田山より勧進された不動明王を安置。成田山があります。弁慶が書いたという書があったそうですが、今は失われています。旧3月28日、旧9月28日は祭典日。三陸三十三観音霊場めぐりの十八番札所。宗祖弘法大師の修業尊像があります。健康長寿を弘法大師に祈願したらいかがでしょう。

R 風待碑

明治中期頃までのカツオ漁は、手漕ぎの和船で金華山沖まで出漁しておりました。10人前後乗り組む20トン位の船で、風がおさまりに安全に操業できるように祈願するため風待碑を建てました。お社はありませんでしたが、風待神社として鎮座申し上げました。カツオ漁が盛んだった頃の大島が想像できます。この碑の周辺、竜舞崎はさすがに海風が吹くいやしのスポットです。

J 竜舞崎

乙姫岩屋・亀島があり竜宮伝説が残っております。海風と松に当たる風や波の音が心をいやします。小田の浜まで松の木に囲まれ、起伏はありますが、松の葉のクッションがやさしい遊歩道です。温浜(ぬくはま)から無人島と唐桑半島の眺めは疲れを忘れさせます。三作浜、新王平から一周道路に出られます。大島灯台があります。

4 竜舞崎コース

- 竜舞崎遊歩道 竜舞崎
↓ 5.4km (新王平経由)
- H 小田の浜 (約3時間)



竜舞崎遊歩道